

発刊によせて

週に2、3回通院して血液透析を受ける施設が透析クリニック。午前、午後、夕方と決まった時間に透析を受けに集う透析者。針刺しに耐える。3、4時間のベッド拘束の過ごし方も難題。透析はお勤め。風邪を引こうが、眠かろうが、仕事中だろうが、欠勤できないお勤め。永らえた命を懸命に生きる。俳句より川柳が似合う。生きる喜び、人の支えが今まで以上に欲しい！

透析も1年目の人から30年以上の人まで、20代から90代の人まで、自宅で静養する人から家業や職場で働く人まで、自分で通院できる人から通院サービスを受ける人まで。今までの生き方も、信念も、技能も、社会との関わりも様々。家庭や社会で、とても透析者に見えない働きぶり。集うクリニックで同好会ができて技を磨く。透析で永らえた人生の文